

簡易型 UHFテナーセット（家庭用）

UHF TENNA SET

UHF ch13〜62

UDC2-SET

U-BIRD ユーバード

取扱説明書

水平偏波用

75Ω用

UHF放送を受信するためのUHF全帯域用アンテナです。
コンパクトなアンテナですから，ベランダや軒先にも取付けられます。

F型端子



MASter of PROduction 生産の覇者

優れた耐候性

アンテナ素子が樹脂製のレドームに収納されていますから，耐候性に優れています。

多様な取付方法が可能

アンテナのマスト固定金具は，22〜42.7mmのマスト径に対応しますから，市販のほとんどのマストに取付けられます。また，付属のサイドベースはフェンス・柱・桁・壁面・軒下などに取付けられますから設置場所を選びません。

構成部品

- UHFアンテナ**UDC2**…1台
- サイドベース………1個（フェンス・壁面兼用取付金具）
- 低損失75Ωケーブル(4C)…15m（片端にF型コネクター・防水キャップ付）
- F型コネクター………1個（**4C**ケーブル用）
- 結束バンド…………2本（ケーブル固定用）
- ケーブルステップル…5個（**4C**ケーブル用）

⚠注意	アンテナを高所や屋根に設置する場合，技術と経験が必要で危険ですから，必ず購入店にご相談ください。

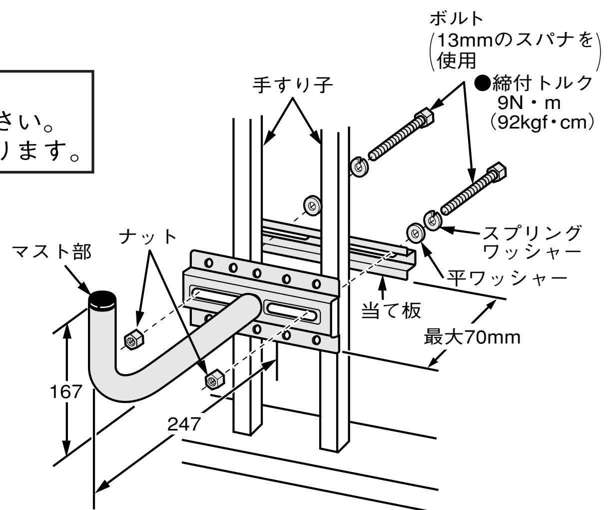
アンテナ取付作業の注意点

- アンテナを取付けるときは，落下防止のため，アンテナや取付金具・工具をヒモで結ぶなどの安全対策をしてから作業してください。
- 高所での作業は非常に危険です。万全の安全対策をして取付けてください。また，屋根に登ると，思ったより高く感じられ，足場も不安定です。滑らないように，充分気をつけて作業してください。
- 雨降り・強風など，天候の悪い日の取付作業は非常に危険ですから，絶対にしないでください。また，夏の炎天下では，屋根が非常に熱くなっていますから，注意してください。
- 感電防止のため，アンテナは電線(電灯線・高圧線・電話線など)からできるだけ離れた(万一，倒れても電線に触れない)場所に設置してください。
- アンテナの上に，植木鉢などを置かないでください。載せてある物やアンテナが落下したり，アンテナが破損したりして，けがや建造物に損害を与える原因となります。
- 台風や大雪などによって，アンテナ・取付金具・マスト・サイドベースなどに異常があったり，ボルト・ナットなどがゆるんだりしていないか，必ず点検してください。また，アンテナが破損・変形した場合，新しいものと交換してください。そのままにしておくと，アンテナや取付金具などの部品が，破損，落下して，けがや建造物に損害を与える原因となります。

マルチメディアの MASPRO ＝マスプロ電工＝

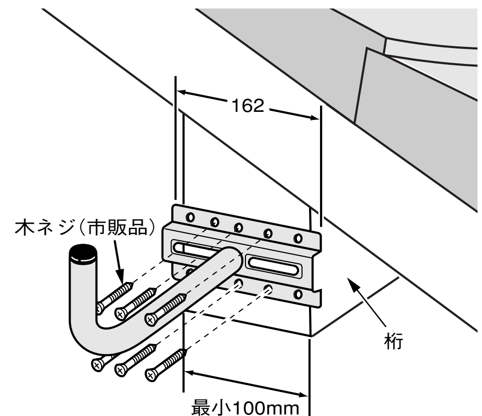
サイドベースの取付け

⚠注意	付属のサイドベースは，**UDC2**専用です。 他のアンテナなどは，絶対に取付けないでください。 落下して，事故やけがの原因となることがあります。



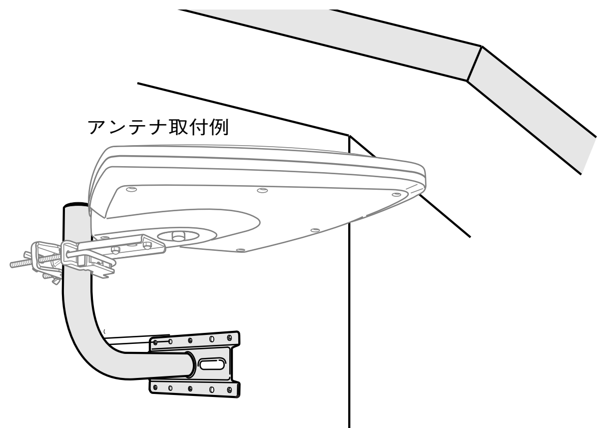
フェンスの場合

- 手すり子に取付ける場合，サイドベースはフェンスの根元に近い，じょうぶな部分に取付けてください。
- ボルトは，手すり子にできるだけ近い位置で締付けてください。
- ボルトは，13mmのスパナを使用して，指定のトルクで締付けてください。



柱・桁の場合

- 必ず，市販の直径5.1～5.5mm，長さ70mm以上の木ネジまたは直径4.2～5.2mm，長さ100mm以上のくぎで，6か所以上をしっかりと固定してください。



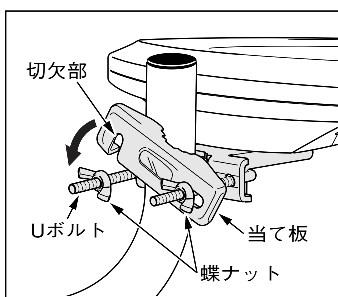
軒下の場合

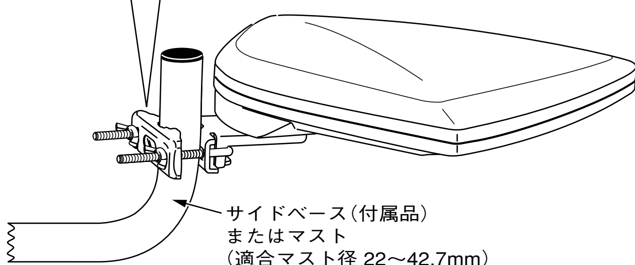
- 必ず，市販の直径5.1～5.5mm，長さ70mm以上の木ネジまたは直径4.2～5.2mm，長さ100mm以上のくぎで，6か所以上をしっかりと固定してください。

ご注意

壁面に設置する場合，必ず工務店にご相談ください。

アンテナの取付け





①蝶ナットをゆるめ，当て板の切欠部側を外します。

②アンテナを付属のサイドベース，またはマストに取付けてから，当て板の切欠部をUボルトにしっかりとはめ合わせます。

③蝶ナットをしっかりと締付けてください。

ご注意

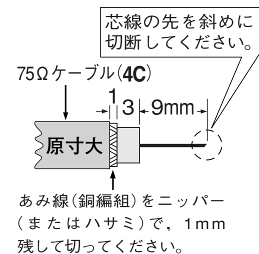
- アンテナの表面に市販の反射テープなどを張付けないでください。アンテナの性能が劣化します。
- **UDC2**を他のアンテナが付いているマストに取付ける場合，アンテナ間は1m以上離してください。
- 75Ωケーブルは，フェンスまたは壁面にそわせて，付属の結束バンド・ケーブルステップルを使用して配線してください。
- ケーブルは無理に曲げないでください。（曲げ半径は40mm以下にしないでください）無理に曲げると，断線など，故障の原因となることがあります。

F型コネクターの取付方法

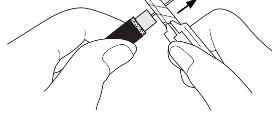
接触不良やショートを防ぐため，プラグはていねいに取付けてください。

付属の低損失75Ωケーブルに付属のF型コネクター（4Cケーブル用）を取付けてください。

❶ケーブルの加工

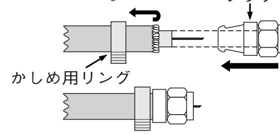


❷芯線に白い膜が付いていることがあります。
導通を良くするために，必ず，取除いてください。



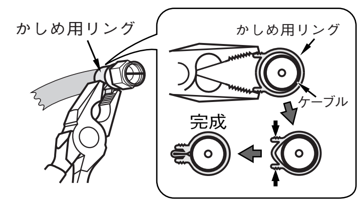
❸プラグの取付け

1. かしめ用リングを，ケーブルに通してください。
2. あみ線（銅編組）を折返してください。
3. プラグを強く押込んでください。

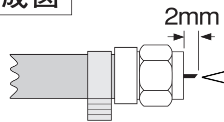


❹かしめ用リングをペンチで圧着

プラグが抜けないようにプラグの根元で，しっかりと圧着してください。

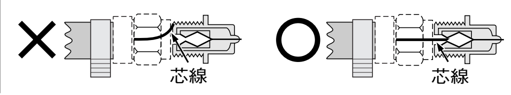


完成図



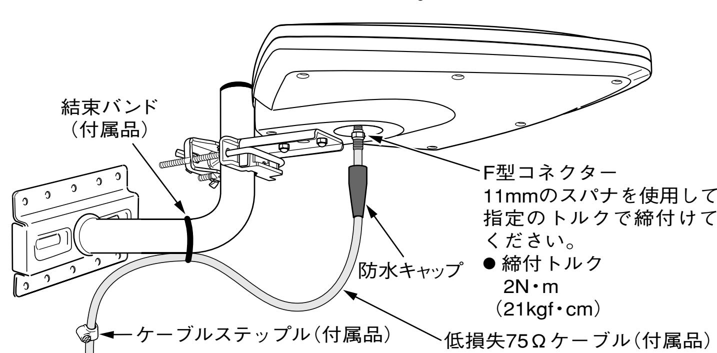
芯線が長すぎると，コネクターが破損して機器が故障します。
芯線の長さは，必ず2mmにしてください。

芯線は，まっすぐにしてください。
芯線が曲がっていると，ショートして機器が故障します。

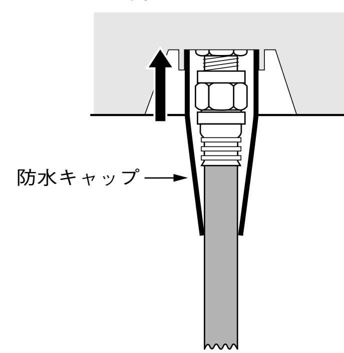


ケーブルの接続

① F型コネクターを，アンテナの出力端子へしっかりと接続してください。



② 防水キャップを矢印の方向へ確実に押込んでください。

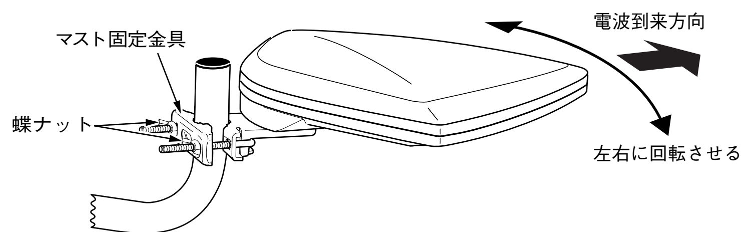


アンテナの方向調整

① アンテナが左右に回転する程度に，マスト固定金具の蝶ナットをゆるめてください。

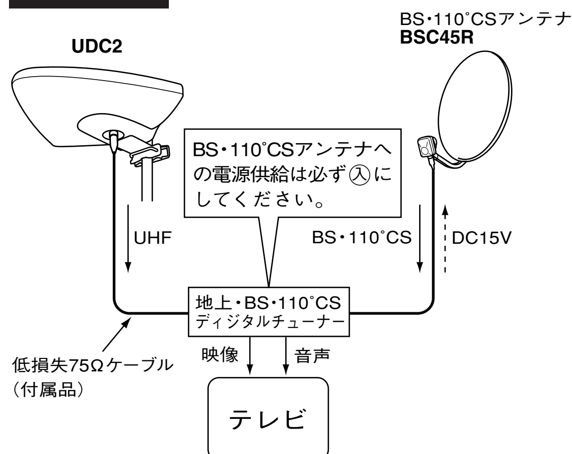
② アンテナを左右に回転して，UHFの電波到来方向に，向きを合わせてください。

③ テレビの画面を見ながら，受信状態が最良になる方向でマスト固定金具の蝶ナットをしっかりと締付けてください。

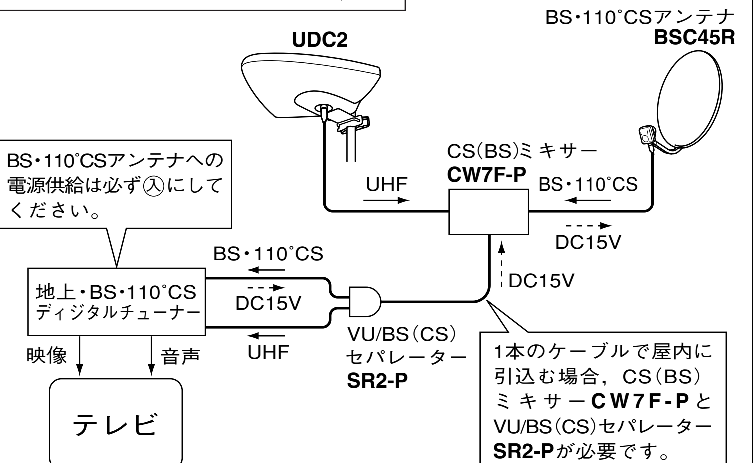


（ディジタル放送の場合，「アンテナ設定」画面に表示される「アンテナレベル」の値が最大になるように，アンテナの向きを調整してください）

使用例



1本のケーブルで引込む場合



規格表

MASPRO

項目	規格
受信チャンネル	ch13～62
動作利得	2.5～4.5dB
VSWR	3以下
前後比	7～18dB
半値角度	55～85°
インピーダンス	75Ω（F型コネクター）
適合マスト径 ※	22～42.7mm
質量（重量） ※	約1kg
外観寸法 ※	419（L）×358（W）×84（H）mm

※適合マスト径，質量（重量），外観寸法は，**UDC2**単体のものです。

指向性能

指向性は前後比と半値角度で表します。

前後比（F/B）について

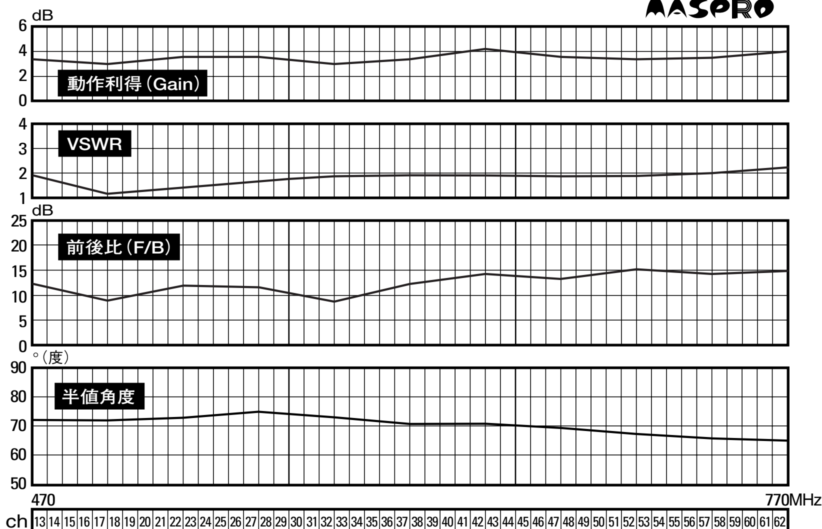
前後比は前方と後方の感度の比をdBで表したものです。前後比が大きいほど，後方からの反射波による妨害が軽減できます。

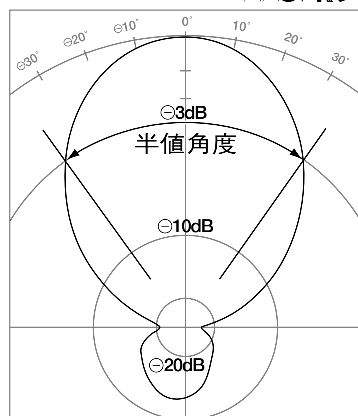
半値角度について

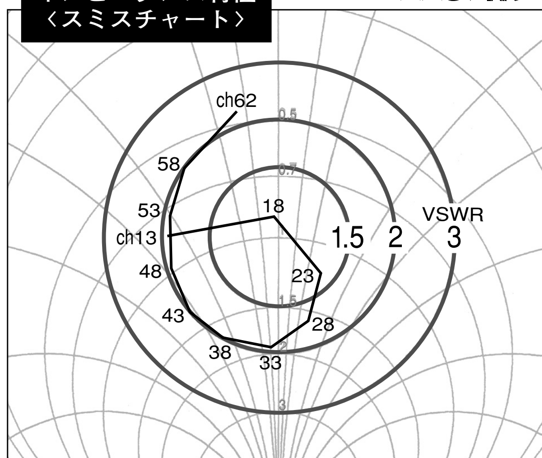
半値角度は指向性の鋭さを示し，半値角度が狭いほど，

- 前方からの反射波による妨害が軽減できます。
- 動作利得が高くなります。

性能







VSWRについて

VSWRは，インピーダンスの整合の度合を表したものです。VSWRが3以下（1に近いほど良い）なら，優れたアンテナといえます。

VSWR	整合損失（利得の低下）
1	完全整合で無損失
1.5	0.2 dB（損失）
2	0.5 dB（〃）
3	1.2 dB（〃）

すべてのグラフは，マスプロ独自の全自動アンテナ測定装置が描いたものです。

マスプロの規格表・性能表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

マルチメディアの
＝マスプロ電工＝

本社 〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町
営業部 TEL名古屋（052）802-2244
技術相談 〃 （052）805-3366
受付時間（土日祝日，当社休業日を除く）
9～12時，13～17時
インターネットホームページ www.maspro.co.jp

支店・営業所
沖縄 （098）854-2768
鹿児島 （099）812-1200
宮崎 （0985）25-3877
熊本 （096）381-7626
長崎 （095）864-6001
福岡（支）（092）531-3861
北九州 （093）941-4026
下関 （0832）55-1130
広島 （082）230-2351
松江 （0852）21-5341
岡山 （086）252-5800
松山 （089）973-5656
高知 （088）882-0991
高松 （087）865-3666
姫路 （0792）34-6669
神戸 （078）843-3200
大阪（支）（06）6635-2222
工事営業部（06）6632-1144
京都 （075）646-3800
津 （059）234-0261
岐阜 （058）275-0805
名古屋（支）（052）802-2233
工事営業部（052）804-6262
豊橋 （0532）33-1500
静岡 （054）283-2220
松本 （0263）57-4625
福井 （0776）23-8153
金沢 （076）249-5301
新潟 （025）287-3155
横浜 （045）784-1422
渋谷（支）（03）3409-5505
工事営業部（03）3499-5631
青戸 （03）3695-1811
八王子 （0426）37-1699
千葉 （043）232-5335
さいたま （048）663-8000
前橋 （027）263-3767
水戸 （029）248-3870
宇都宮 （028）660-5008
郡山 （024）952-0095
仙台 （022）786-5060
盛岡 （019）641-1500
秋田 （018）862-7523
青森 （017）742-4227
函館 （0138）53-7355
札幌 （011）782-0711
釧路 （0154）23-8466
旭川 （0166）25-3111
北見 （0157）36-6606

MASter of PROduction
生産の覇者
2K55-759
JY(N) 410-4759-1L
OCT., 2004